

東北地方 3 か月予報

(4 月から 6 月までの天候見通し)

平成 2 0 年 3 月 2 5 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
気温は、高い確率が 5 0 % です。

4 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

気温は、高い確率が 5 0 % です。

5 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

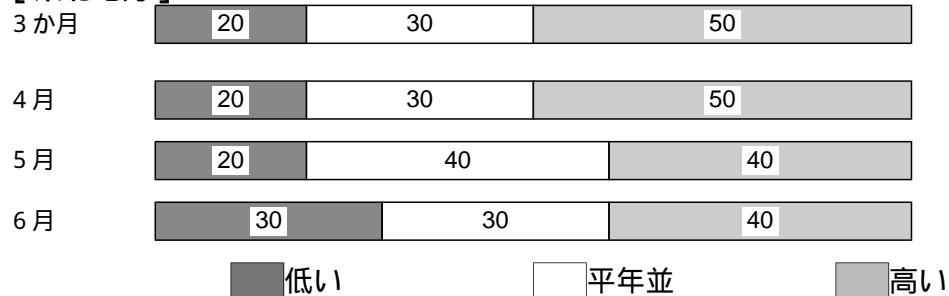
気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

6 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

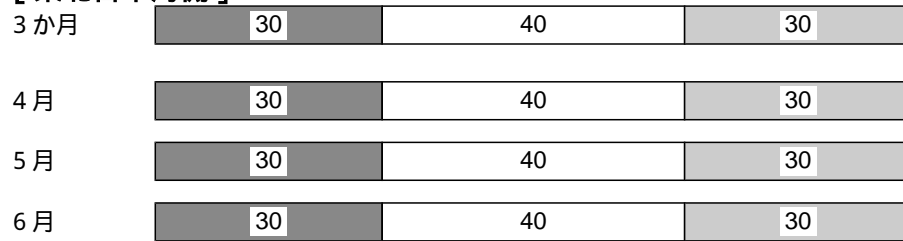
< 気温 >

[東北地方]

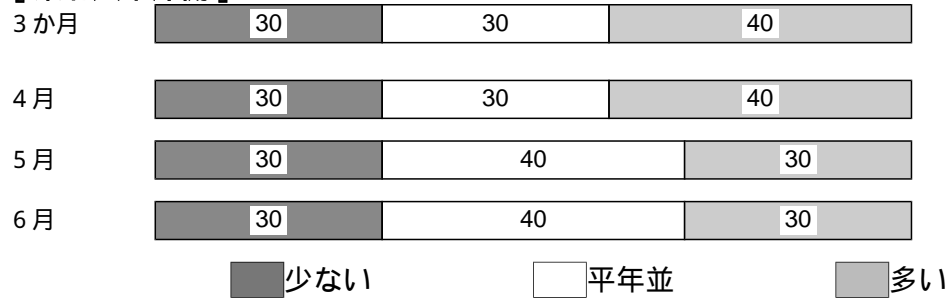


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月28日

3 か月予報：4月24日（木） 14時

4 月の予報については、新しい資料による次回以降の1 か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	4月	5月	6月	4月～6月	4月	5月	6月	4月～6月	4月	5月	6月	4月～6月
青森	7.9	13.1	17.0	12.7	60.7	78.8	82.2	221.7	187.3	210.1	180.7	578.1
深浦	8.3	13.0	17.2	12.8	93.3	108.8	109.4	308.6	174.7	197.4	179.6	551.7
むつ	7.2	12.1	15.6	11.7	81.1	92.3	109.0	282.3	193.8	207.7	162.6	564.2
八戸	8.3	13.1	16.1	12.5	58.9	84.7	99.2	242.8	194.3	207.5	168.8	570.7
秋田	9.2	14.2	18.8	14.1	117.6	122.8	127.5	367.9	175.0	191.4	178.0	544.3
盛岡	8.4	13.8	18.2	13.4	93.8	103.3	114.9	312.1	175.1	194.9	151.7	521.8
大船渡	9.0	13.6	17.3	13.3	138.0	149.8	171.5	449.3	176.0	196.3	148.2	520.5
宮古	8.7	13.1	16.0	12.6	96.3	98.4	117.3	311.9	192.3	191.8	140.4	524.4
仙台	10.1	14.9	18.3	14.4	98.1	107.9	137.9	343.9	190.9	198.7	127.9	517.5
石巻	9.2	14.0	17.7	13.6	91.8	98.2	111.6	301.6	192.6	206.5	145.6	544.7
山形	9.8	15.4	19.5	14.9	68.1	81.3	102.6	251.9	180.3	201.9	153.8	535.9
新庄	8.1	14.2	18.7	13.7	98.3	106.6	131.0	332.1	150.2	180.1	152.7	482.4
酒田	9.8	14.9	19.3	14.7	105.5	116.8	128.1	350.4	173.1	198.7	175.9	547.7
福島	11.3	16.5	19.9	15.9	79.5	87.5	118.1	285.1	188.6	198.1	130.1	516.7
若松	9.9	15.5	19.8	15.1	63.4	80.5	115.7	259.6	175.8	197.9	157.9	531.5
白河	9.8	14.8	18.4	14.3	100.5	120.0	167.6	388.0	184.2	188.4	121.9	494.5
小名浜	11.1	15.1	18.3	14.8	128.3	147.0	149.8	425.1	186.1	198.4	138.4	522.9

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	4月	5月	6月	4月～6月
気温平年差()	東北地方	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.2	-0.2 ～ +0.2
	東北日本海側	-0.5 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.2	-0.2 ～ +0.2
	東北太平洋側	-0.5 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.2	-0.2 ～ +0.2
降水量平年比(%)	東北地方	89 ～ 112	86 ～ 115	82 ～ 118	94 ～ 108
	東北日本海側	90 ～ 110	84 ～ 110	71 ～ 105	92 ～ 110
	東北太平洋側	84 ～ 113	82 ～ 111	88 ～ 111	89 ～ 112
日照時間平年比(%)	東北地方	94 ～ 103	98 ～ 105	95 ～ 106	97 ～ 103
	東北日本海側	92 ～ 106	95 ～ 104	96 ～ 107	97 ～ 105
	東北太平洋側	95 ～ 102	99 ～ 106	90 ～ 108	95 ～ 103

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料 (4～6 月)

平成 20 年 3 月 25 日 仙台管区气象台

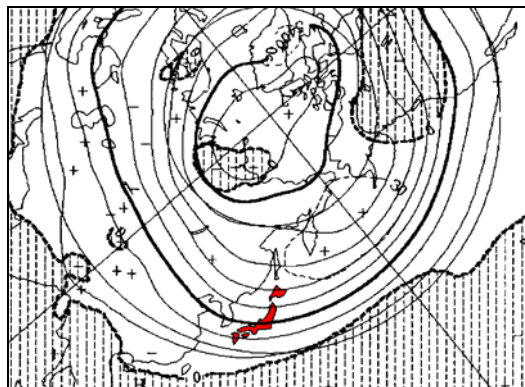
1. 向こう 3 か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
4～6 月	高い確率が 50%	各階級の確率の偏りは小さい
4 月	高い確率が 50%	各階級の確率の偏りは小さい
5 月	平年並または高い確率がともに 40%	各階級の確率の偏りは小さい
6 月	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図（右図）：

予想図では、日本付近の中緯度帯はおおむね正偏差（平年より高度が高く、暖気に対応）におおわれ、3 か月平均気温は高い傾向が予想される。



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

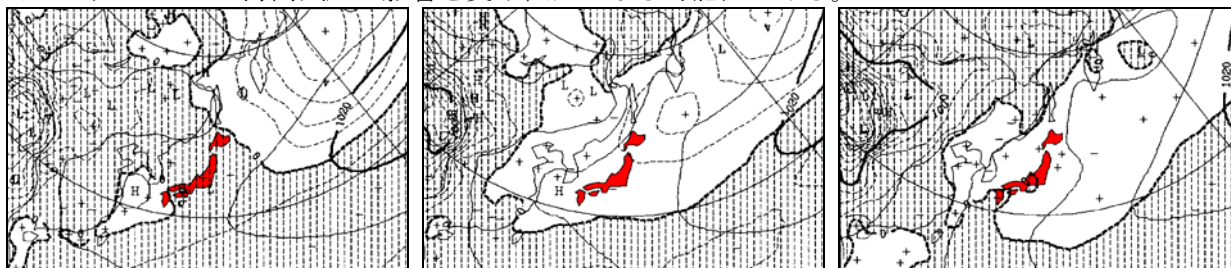
実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図）：

4 月：東シナ海に弱い正偏差と、北海道の北東海上にはアリューシャン近海に中心を持つ正偏差があるが、日本付近は弱い負偏差となり、平年より気圧が低い。日本付近は低気圧が通過しやすく太平洋側を中心に平年に比べて晴れの日が少ない見込み。

5 月：大陸と日本の南海上に負偏差が広がるが、日本付近は正偏差。東北地方は高気圧におおわれやすく平年と同様に晴れの日が多い見込み。

6 月：5 月とほぼ同様の分布で、大陸と日本の南海上に負偏差が広がるが、日本付近はほぼ正偏差。日本付近では太平洋高気圧が強いが、オホーツク海付近にも等圧線が張り出しており、東北地方は一時オホーツク海高気圧の影響を受け低温になる可能性がある。

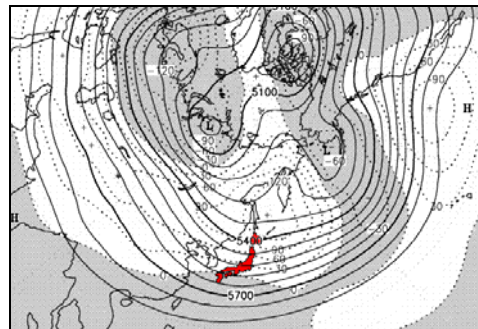


月別の地上気圧と偏差の予想図（左から 4 月、5 月、6 月）

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎、陰影部は負偏差

3. 今月の循環場の特徴

3 月 (20 日まで)：500hPa 高度では、中東から日本の東海上にかけての中緯度で帯状に正偏差となり、オホーツク海で顕著だった。東北地方は寒気の南下が弱く、また高気圧の影響を受けやすかったため、暖かい日が多かった。



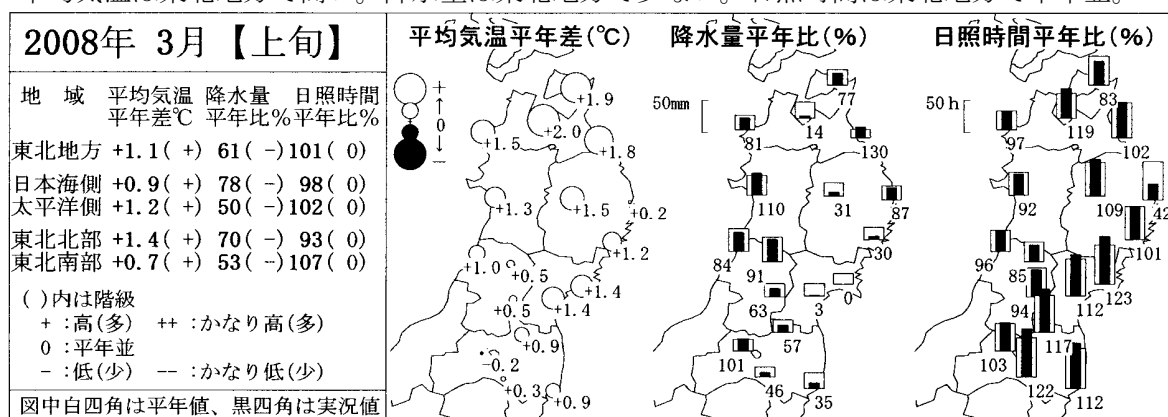
3 月 1 日～20 日の平均 500hPa 高度

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差

4. 最近の天候経過

3月上旬：期間の前半は、短い周期で寒冷前線や気圧の谷が通過し東北日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多かったが、期間の後半は高気圧におおわれ東北太平洋側を中心に晴れるところが多かった。

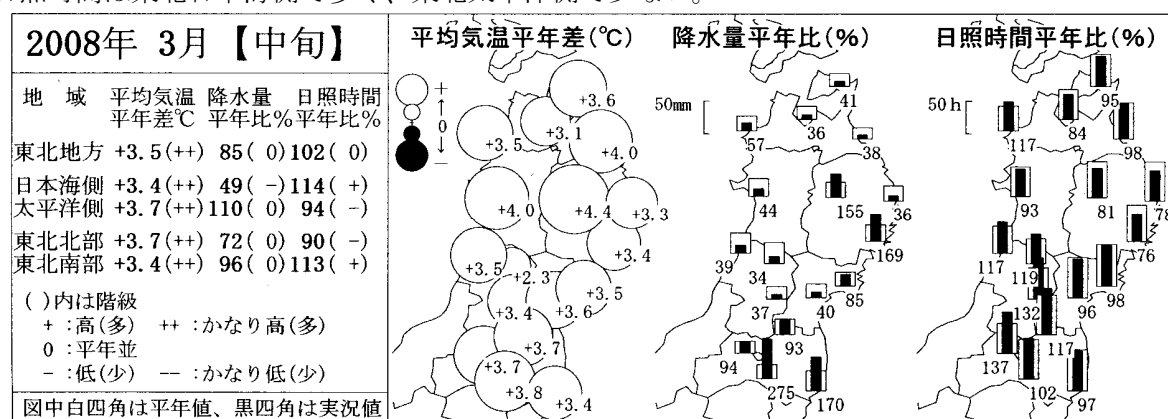
平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北地方で平年並。



東北地方における3月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

3月中旬：移動性高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、期間の中ごろとおわりには前線や低気圧の影響で曇りや雨となった。日本の東で高気圧の勢力が強く、南から暖かい空気が入り、気温は高くなった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。

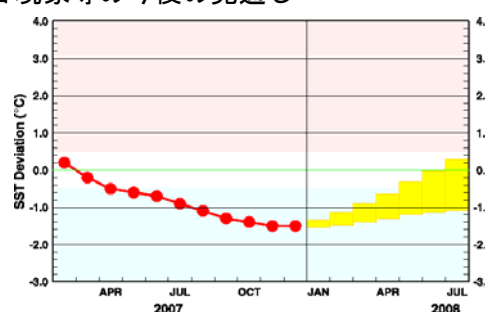


東北地方における3月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

5. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

太平洋赤道域の海面水温は、中部で顕著な負偏差だった。海面から深さ数百mまでの水温や、中部太平洋赤道域の東西風状態は、ラニーニャ現象が持続していることを示している。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、今後、夏にかけて次第に基準値に近づくと予測される。ラニーニャ現象は夏にかけて弱まっていく見込みである。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の推移(折れ線グラフ)と今後の予測(ボックス)

<参考資料>

平年の天気出現日数(日)

	4月		5月		6月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	16.8	18.2	17.6	17.7	14.3	12.0
雨の日	10.9	8.9	10.4	9.3	10.3	10.4

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。